

2024 - 2025 年度  
東日本区年次報告書  
・  
行政監査報告書



2025年6月7日  
年次代議員会提出用

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区

## 目次

理事.....	1
直前理事.....	4
書記.....	5
会計.....	7
地域奉仕・YMCA サービス事業 .....	8
会員増強事業.....	9
国際・交流事業.....	12
ユース事業.....	14
北海道部.....	14
北東部.....	15
関東東部.....	16
東新部.....	17
あずさ部 .....	18
湘南・沖縄部 .....	19
富士山部.....	20
文献・組織検討委員会 .....	21
LT委員会.....	22
東日本区ワイズ基金委員会 .....	23
ワイズメネット委員会.....	23
法人推進委員会 .....	24
ヒストリアン.....	26
ITアドバイザー.....	27
トラベルコーディネーター.....	27
広報・伝達(PR)専任委員 .....	28
ユース代表.....	29
東日本区事務所 .....	29
担当主事.....	30
行政監査報告書 .....	32

# 理事

理事 山田 公平(宇都宮クラブ)

主題：ワイズの方向性を見極める

スローガン：ユースエンパワメントをYMCAと共に

今日まで 2 年間に亘り東日本区の理事として務めさせていただきましたことに心から感謝申し上げます。私の感想は、1 年目と 2 年目がかなり違ったものになっています。1 年目は、すべてが新しい体験であり、何をすることも規則やこれまでのやり方を重視して進めざるを得なかったというところでした。しかし 1 年目後半から次なる 2 年目こそワイズの方向を見極めた活動を推進したいという計画で、キャビネットメンバーはじめ、主な役員も 2 年間継続して役を受けていただき、計画をより現実的に実行できるようになったと感じます。

ワイズ運動は、100 年の歴史を持ち、その時代その時代の要求に応じてきたと確信しています。このワイズ運動は、今や世界 70 数か国にまで広がってきました。一方で、ワイズ発祥の地アメリカでは、時代の流れか、急激にメンバーを失い、少し遅れてヨーロッパでも日本でもメンバーの高齢化と人数の減少が進んできました。時代の流れと共に異業種交流と学び、家族を含めての交流、地元 YMCA への貢献というあり方が、少しずつ変化していったのではないのでしょうか。

今は、ワイズの中でも西ヨーロッパの国々がその選択の時を迎えているように思います。長い期間、YMCA とかかわってきた私自身の立場から見て、ワイズ運動あるいはその組織は今後どうあるべきかを考えてきました。今年、ワイズ東日本区のスローガンには、「ユースエンパワメントを YMCA と共に」としました。この 2 年間、そのためになすべきことを考えてきました。未来社会の担い手を育成することは、どんな時代にも求められていると感じています。ワイズという国際的な団体がユース育成のためにやっている AYC (エリアユースコンボケーション) や IYC (インターナショナルユースコンボケーション) というのが毎年行われ、日本からもユースが参加しています。そんな国際的なイベントを YMCA と共に作っていくことができればよいと思います。

## 1. 第36回ユースボランティア・リーダーズフォーラム

略称でYVLFと呼ばれるこの行事は、2024年9月6-8日に山中湖センターで約30人のユースと30数名のワイズの参加で行われました。これまでのYVLFはあくまで各地のYMCAにいる野外活動リーダーを対象にしていましたが、この年からは、社会的な課題に関心のあるユースリーダーを対象にして行われました。基調講演は、伊藤眞太郎熊本YMCA総主事で、不登校児童への取り組みをしてきた経験を語っていただきました。こういうテーマに関心あるリーダーたちが立ち上がり、社会問題に取り組むきっかけを作りたいと考えました。このYVLFは、これまでのキャンプリーダー養成からから、社会的課題への取り組みを目指してYMCAと共にありたいということで変わりつつあります。

YVLFの期間中、悲しい出来事がありました。YVLF実行委員長であった城田教寛さん（東京多摩スマイルクラブ）が、2日目の昼食後に急病で甲府にある病院に運ばれ、その日の夕方亡くなりました。城田さんは、ユース事業に関心があり、このYVLFの実行委員長を務めていました。突然のことでした。しかし、このような非常事態の中で、ワイズのもつネットワーク、危機の時の素早い対応力のすばらしさを感じました。本当に素晴らし組織にいることに誇りと喜びを改めて感じる時となりました。

## 2. Y's × SDGs ユースアクション 2024

ユースアクションは、ワイズ東日本区、西日本区と日本 YMCA の 3 者が、2022-23 年に行い始めたパートナーシップ事業です。YMCA とワイズメンズクラブの協力によって、ユースが社会的な課題にチャレンジしようという期待で生まれたのがこのユースアクションです。ワイズ両区がそれぞれ 80 万円を拠出し、YMCA 同盟が 40 万円を拠出、さらに同盟はこの活動の事務的な役割を担うという形で始められた初めてのプロジェクトでした。

第 2 回ユースアクションプロジェクトは、2024 年 4 月～2025 年 1 月に行われました。東西日本区と YMCA 合同で 10 か所でのユースアクションプロジェクトがチャレンジされました。終了後の報告会には、ワイズと YMCA 関係者および参加者を含め、100 名を超える人たちが聴くことができました。ここに、東日本区内で行われた 7 つのユースアクションを簡単に報告します。

・東京 YMCA ユース活動「ミックス」：外国にルーツのある子どもたちへ出会いの場、日本語会話、日本文化を知る機会になったことなど。この活動は YMCA のプログラムとして来年度も継続される。

・山梨 YMCA リーダー会：子どもの貧困というテーマで、ユースに何ができるかを追求した。養護施設の子どもたちとのキャンプを行い、「やってみたい」をやってみた。そして「できた！」という体験に。

・埼玉 YMCA 川越センターのクローバークラブ：アトリエプロジェクトで子どもたちのたまり場（居場所）活動を展開。地元の商店街も協力して、絵の会、書道、地元の人たちとの交流を行った。

・中央大学 YMCA 「ひつじ雲」：多文化共生をテーマに川口市と協働で外国ルーツの子どもたちと知る、学ぶ体験を作り上げていった。「学生から世界を変えていく・・・」という思いでかかわってきた。

・長野クラブと松本クラブ合同の“Youth for Noto”：長野県の留学生を中心に能登で 2 泊 3 日の支援活動を 2 回実施。フリーマーケットを実施、被災した人々のために「何かしたい」を実現した。

・札幌 YMCA リーダー会有志：古着などの物々交換を始め、子供服やスキーウェアなど交換。数人しか集まらなかったイベントが、SNS の活用で 300 名を超える参加者が来てくれるようになった。

・盛岡 YMCA ユースリーダー：2 年前から子どもの人権をテーマに、地元の弁護士会の協力も得て、自作の人権カルタを作り、すべての小学校に配り、岩手県の「小学校からいじめをなくす！」を目指に。

## 3. 不登校児へのプロジェクト (TOF プロジェクト)

2024-25 年度の国際協会 TOF プロジェクトに東日本区が応募し、そのプロジェクトが認められ、助成金 15,000 スイスフラン（日本円で約 250 万円）が 3 か年プロジェクトとして始められました。これまでとちぎ YMCA、埼玉 YMCA、盛岡 YMCA、山梨 YMCA などに声掛けしてきました。1 年目は、そのために不登校の実態を学ぶこと、不登校に関心ある人たちを集める時だと考えています。その他にも東京 YMCA では高等学院を運営し、そこには中学まで不登校だった生徒が多くいることも現実です。昨年設立された大和クリエイティブ Y サービスクラブは、不登校児の何人かが音楽活動を通して新たな力を得ることを願っている人たちの集まりです。それらの YMCA やワイズに、これからやりたいことがあるかを調べ、協力するために TOF ファンドを活用できればと思っています。これは今後も 2 年間続けていく予定です。

#### 4. 国内でのCS活動やBFによる交流

東日本区にある51クラブが各地域における地域奉仕活動に積極的に取り組むことがワイズ運動を住民に理解してもらうために大切だと考えます。2025年1-3月に毎月1回、ユニークな活動をしているCS活動9つを、CSナイトフォーラムという形で3回に分けて紹介され、その3回の参加者は、100名超えました。また、国際を身近に感じる取り組みが、今後のワイズ運動に大切です。その一つがBF交流です。日本からは東京多摩スマイルクラブの為我井さんがネパールにBF代表として2週間滞在。一方でインドからBF代表受け入れも行い、関東東部、東新部などのクラブが受け入れをして有意義な交流ができました。

#### 5. 組織の簡素化を見直す動き

昨年度におこなわれたチーム・イノベーションで話し合われた組織の在り方の見直しが、早急に実現すべき課題です。メンバーの高齢化と同時に、既存クラブや組織をやりくりするリーダーシップへの負担も大きくなっていて、会員数の減少、リーダーシップの不足、組織の硬直化が、解決すべき大きな課題だと感じました。特別タスクチームがキャビネットや部長を中心に、組織の簡素化、財政の現実的見直しを実現するために話し合わせ、次年度への方向性が前向きに修正されるようになったことは、大きな成果と言えます。

ワイズ運動の在り方を、来年度のキャビネットチームと共にしっかりと考え、部の役割や機能を軽減していこうという組織的な話し合いが行われました。その後、LT委員会とも相談し、これまで行われていた12月の部長・事業主任の研修会でそれぞれの考えをもとに意見交換が行われ、さらに2025年3月に行われた次期クラブ会長・部役員研修会（1泊2日東山荘）でも、ほぼ全員が部の役割・機能軽減化について話し合い、部の在り方について大方の合意が得られるようになりました。その結果、次年度にはさらに踏み込んだ在り方が実行されていくこととなります。

#### 6. 区の財政困難への対応

昨年度のチーム・イノベーションからの答申の一つが区の財政困難への対処策でした。過去5年間、繰越金が毎年減少して、このままだと後がなくなると判断されました。一つの案は、区費の値上げ、もう一つは会員の縮小に応じた支出の削減を行うということでした。区費の値上げについては、多くの反対意見もあり、西日本区でも行っているサポートファンドという新しい寄付を仰ぐという提案が出されました。その結果、多くの会員有志、あるいはクラブ単位でのサポートファンドが寄せられ、2025年4月末で約60件から約350万円余りの寄付が寄せられたことは感謝とワイズ運動へのメンバーからの期待の大きさを感じさせられるものでした。

#### 7. その他の取り組みと活動報告

##### (1) クラブの設立と解散

- ・大和クリエイティブ Y サービスクラブ（湘南沖縄部）チャーターナイト（8名）が11月に行われた。一方で今年度中に2つのクラブから解散届が出された。東京センテニアルワイズメンズクラブ（5名在籍）、足利ワイズメンズクラブ（3名在籍）が、12月末で解散となった。

##### (2) 献金報告

各種献金：BF 404,630、TOF 492,600、CS 767,500、ASF 220,900、FF 159,000、RBM 283,200、YES 203,960、ユース活動支援 464,300、および YVLF 負担金 1,020,000 となり、合計献金額は、

4,016,090 円（昨年度実績 4,453,770 円）となりました。皆さまの各種献金へのご理解とご協力に感謝申し上げます。詳しくは会計の報告の項をご覧ください。

(3) 会議の記録： 理事主宰の東日本区内の会議

- ・ 第 28 回東日本区大会 2025 年 6 月 7 日 宇都宮市（予定）
- ・ 常任役員会 月例 11 回 + 臨時 2 回、合計 13 回
- ・ 東日本区役員会 通常 4 回 + 臨時 1 回、合計 5 回
- ・ 東日本区代議員会 年次 1 回 + 臨時 2 回、合計 3 回
- ・ 中間決算会計監査 2025 年 4 月 4 日 ワイズ事務所（四谷）

(4) その他の会議

- ・ 第 28 回ワイズメンズクラブ西日本区大会 2025 年 6 月 14 日 神戸市（予定）
- ・ 東西理事連絡会議（4/13）Zoom で開催
- ・ 日本 YMCA 大会 11 月 15-17 日（東山荘）
- ・ International Convention 世界大会（タイ、チェンマイで 8 月 8-11 日開催）に参加。
- ・ 周年式典等 八王子クラブ 30 周年記念式典 2024 年 10 月 19 日  
熱海グロリークラブ 40 周年記念式典 2024 年 10 月 20 日
- ・ 研修会 部長・事業主任研修会 12 月 7 日 Zoom、次期クラブ会長・部役員研修会 3 月 8-9 日（東山荘）

(5) 部大会の記録

- ・ 北海道部部大会 8/ 31（土）
- ・ 北東部部大会 9/ 28（土）
- ・ 東新部部大会 10/ 5（土）
- ・ 関東東部部大会 10/ 19（土）
- ・ あずさ部部大会 10/ 19（土）
- ・ 湘南・沖縄部部大会 11/ 26（土）
- ・ 富士山部部大会 10/12（土）

(6) その他、多くの事業委員会、常置委員会、特別委員会等に出席した。

東日本区へのご支援、ご協力をいただきまして、誠にありがとうございました

---

## 直前理事

直前理事 佐藤 重良(甲府21)

私は、2022-23 年度東日本区理事を務めたあと、2023-25 年までの 2 年間、直前理事として山田公平理事を支えて参りました。また、職責委員長として、①法人推進委員会委員長 ②東日本区役員指名委員会委員長をそれぞれ 2 年間務めて参りました。

<直前理事として>

近年 東日本区のクラブ会員の高齢化が進み、クラブ員の数の減少に歯止めがかかりません。クラブ会員の減少に伴い、クラブの運営も難しい状況が続いており、クラブの解散も進んでいます。また会員減少に

より東日本区の財政も非常に厳しいものになってきました。会員増強にはさらなる努力をしなければ成らないと感じております。このような状況ですので 常任役員会では諸問題の提案と処理、これに対する改革改善についてスピード感をもって更なる努力をしてゆかなければならないと感じております。

とはいえ、キャビネットが目指した目標の実現に至らなかったことを猛省し、今度は一人のワイズとしてクラブ員への積極的な声かけ、自主的活動を広げて行きたいと思っています。

<法人推進委員会委員長として>

次に、法人推進委員会を通して感じたことを述べたいと思います。

残念ながら、我々東日本区は、「パワーを失ってしまった」というように見受けられます。お一人お一人が行っていることや気持ちが、クラブ、部そして東日本区全体に繋がっていない。成功事例の水平展開が出来ていない、と思われまます。なぜパワーを失ってしまったのか？それは、資金不足、人員不足、アイデア不足などが挙げられますが、簡単に言えば、我々ボランティア団体自体も、他の人から助けてもらうことが出来る、ということをおぼれているように感じます。ワイズ外の諸団体や行政が、補助金、助成金などを用意しているにもかかわらず、我がワイズメンズクラブは人に頼らず、お金も頼らず、というように見えます。そうではなく、我々はこういうことをやりたいんだ！ということをお明確に掲げ、その理念に基づいて、協力者、資金を、ワイズ内外から募ることができるのではないのでしょうか。

<役員指名委員会委員長として>

最後に、東日本区役員指名委員会を通じて感じたことを記します。

簡単に言えば、理事をはじめ、監事、書記、会計等の役員のなり手がいない、ということです。私は、ワイズの活動を具に見るために、新クラブ設立総会・チャーターナイトへの出席を始めとして、周年例会への参加、チェンマイでの国際大会への出席、東西日本区大会への出席など多くの現場を見てまいりました。その中で出会った 40 代、50 代の方々は、夢を語り、ビジョンを熱く持っていました。東日本区役員のルールは、やりたいという若い方々の芽を摘むことないように、試してみてもどうか、と思っております。たとえば、副理事という役職を設けて、その任については、クラブ会長、部長などの経歴は一切不問とする、とか。新しい風が通るように窓を開けたい、と思っております。

---

## 書記

書記 大和田 浩二(松本)

2 年目となる書記の任務として、理事を補佐し、理事の指示に従い区の運営にあたり、区の事務全般を掌りました。各事業委員会、各委員会にも可能な限り参加させていただきました。この 2 年間の副書記・広報伝達委員の多大なる協力に感謝するものです。

1. 常任役員会

- 第 1 回：2024 年 7 月 10 日
- 第 2 回：2024 年 8 月 22 日
- 第 3 回：2024 年 9 月 24 日
- 第 4 回：2024 年 10 月 22 日
- 第 5 回：2024 年 11 月 26 日
- 第 6 回：2024 年 12 月 23 日
- 第 7 回：2025 年 1 月 29 日
- 第 8 回：2025 年 2 月 18 日

- 第9回：2025年3月21日
- 第10回：2025年4月24日
- 第11回：2025年5月14日

## 2. 東日本区役員会

第1回：2024年7月13日オンライン 出席者23名。内議決権者15名

議案：第1号議案 2023-2024年度東日本区会計決算を承認。第2号議案 2023-2024年度東日本区大会会計決算を承認。 理事方針の説明と質疑応答。監事講評

第2回：2024年11月9日オンライン 出席者25名。内議決権者15名

議案：第1号議案 2024-2025年度 第28回東日本区大会実行を承認。第2号議案 2025-2026年度第29回東日本区大会ホストクラブ（石巻広域）を承認。第3号議案 2024-2025年度東日本区第2回臨時時代議員会開催（12/7.18:00～オンライン）を承認。第4号議案 東京センテニアルYサービスクラブ解散を承認。山田理事・山下次期理事から①東日本区財政再建・組織検討タスクフォースの検討課題②2025-2026年度理事方針・予算の方向・役員体制、及び③事務所機能（事務所長公募及び条件）の説明と質疑応答。監事講評

第3回：2025年4月12日～13日 対面・東日本区事務所会議室 出席者32名。内議決権者15名

議案：第1号議案 2024-2025年度東日本区中間決算報告を承認。第2号議案 2024-2025年度理事方針・予算案・役員案を承認。第3号議案 2025-2026年度東日本区事務所体制を承認。第4号議案 カレンダープロジェクト計画の件（議案は取り下げ報告承認）。第5号議案 YVLF等ユース育成資金（負担金）の負担方法変更を承認。第6号議案 旅費規程改訂を承認。第7号議案 足利クラブ解散を承認。第8号議案 部機能に関する定款・施行細則改定を代議員会に提出することを承認。第9号議案 東日本区大会実行委員会設置継続審議議案の取り下げを承認。第10号議案 東日本区大会に関する定款・施行細則改定を代議員会に提出することを承認。報告：年次代議員会議長を榎本博直前部長とすることを確認。グループディスカッション（次期理事方針を自分のこととして捉える）。監事講評

第4回：5月24日 オンライン

議案：第1号議案 区の範囲検討を踏まえた必要な定款・定款施行細則の変更を代議員会に提案の承認。第2号議案 2024-2025年度東日本区年次代議員会議案事前審議。

## 3. 東日本区代議員会

- 臨時時代議員会 2024年8月20日から2024年8月24日までを投票期間と定め、Google フォームを用いて各議案についての賛否の投票を受け付け。第1号議案 2023-2024年度東日本区会計決算報告を承認。一般社団法人新理事体制を承認。出席議決権者51名。

- 臨時時代議員会 2024年12月7日オンライン

議案：第1号議案 2025-2026年度東日本区大会ホストクラブ（石巻広域）を承認。出席議決権者53名。

- 年次代議員会 2025年6月7日

第1号議案 2024-2025年度 東日本区年次報告承認の件

第2号議案 2024-2025年度 東日本区中間決算報告承認の件

第3号議案 2026-2027年度の東日本区理事選出の件

第4号議案 次年度の次期理事（2027 - 2028年度理事）、次期行政監事（2025-2027年度）承認の件

第5号議案 2025-2026年度東日本区理事方針承認の件

第 6 号議案 2025-2026 年度 東日本 区役員承認の件

第 7 号議案 2025-2026 年度東日本区予算案承認の件

第 8 号議案 臨時代議員会実施の件

第 9 号議案 部の在り方の検討を踏まえた必要な定款・定款施行細則の変更承認の件

第 10 号議案 区の範囲検討を踏まえた必要な定款・定款施行細則の変更承認の件

第 11 号議案 東日本区大会の実行体制の変更に必要な定款・定款施行細則の変更承認の件

#### 4. 理事通信の発行（担当：副書記）

- 〈1〉第 1 号 7 月 7 日、〈2〉第 2 号 9 月 19 日、〈3〉第 3 号 11 月 12 日、〈4〉第 4 号 1 月 30 日、  
〈5〉第 5 号 3 月 31 日、〈6〉第 6 号 5 月

#### 5. 評価・反省

- 各議事録を議案の承認事項ではなく議案に先立つ確認事項にして行ったことは議案の確実な審議に有効であると評価したいと思います。
- 連絡手段、臨時会議等の議案審議も、ほぼメールを用いて行うことが多く、各代議員・役員・委員にそのことを徹底して行くことがますます重要と思われれます。
- 書類等の提出期限を守っていただけないこと、未提出もあり、この徹底の仕方も今後の課題です。理事の様々な面での補助者たらんと 2 年間努力しましたが、及ばないところ多々でした。ユースアクションの存在にキャビネットの立場で接し、ユースフォー能登での留学生・大学生との能登半島地震復興に少しばかり寄与できたのは嬉しい出来事でした。

---

## 会計

### 会計 鈴木 伊知郎(宇都宮東)

直前期 2023-2024 年度に引き続き、今期 2024-2025 年度も東日本区の会計を担当させて頂きました。

#### (1) 近年の東日本区一般会計の現状

2 度目の東日本区会計を務めた総括として、東日本区の財政状態の悪化の要因としては、

##### ① 会員数減少による区費収入の減少

新型コロナウイルスの感染拡大が始まる前の 2018-2019 年度の東日本区の会員数は 822 名、年間の東日本区収入は 12,461 千円でした。今期は会員数 663 名、東日本区費収入は 9,494 千円と 20%以上減少しております。

##### ② 国際会費等が為替レートの悪化により増額となった

2014-2015～2019-2020 の期間は区費収入に占める国際会費等の支出割合は 32%～34%でしたが、2021-2022 年度は 36.3%と上がり始め、2022-2023 年度は 42.4%と上昇し、直前期の 2023-2024 年度は 49.9%とほぼ半分を占め、少し為替レートが円高に振れた今期は 46.8%となりました。要因は為替レートが 1 スイスフラン当たり 110 円程度でしたが今期は 170 円程度と 154%の対円レートの上昇。アジア太平洋地域会費等は米ドルで、1 ドル当たり対円で 115 円が、今期は約 150 円と 1.4 倍近く上昇し、国際会費等の分担が大きく東日本区の財政を圧迫しました。

### ③各期に於ける繰越剰余金が連続して減少

2018-2020年度までは区の一般会計の次期繰越金は1,000万円を超える金額でしたが、新型コロナウイルスの感染拡大が始まった2020-2021年度には前期の区費の徴収を停止したこともあり509万円と半減し、その後も減少が続き前期の2022-2023年度には次期繰越金は313万円まで減少し、直前期の2023-2024年度は遂に次期繰越金が203万円まで減少しました。

## (2) 財政改革の取り組み

①近年の東日本区の会員数の減少や財政状態の悪化への対応策を検討するため、直前期の1年間、チーム・イノベーション（田中博之委員長）より、財政状態改善のための答申を受け、キャビネットとして提言を参考とし財政再建のために、経費削減を実施しました。特に区役員の活動費並びに交通費の大幅な削減を実施し、区役員の皆様にはご負担をお掛け致しました。そして区役員及び東日本区事務所長の努力により、経費の削減がみられました。

また、今期の予算案は従来のように、会員の増加を見込み、区費の増加を見込む予算案を每期予算案として上程しておりましたが、東日本区財政破綻の懸念がある今期は、従来型の予算案策定をやめて保守主義の原則に基づき、会員の増加が見られなく、外国為替も好転せずに国際会費等の支出額が増加する最悪の場合を想定した予算案とし、健全な財政状態にするように努めました。

### ②東日本区サポートファンドの実施

チーム・イノベーションの答申により、東日本区一般会計に対するファンドを2024年8月から実施し、ファンドの額は一般会計の収入の部に組み入れました。

4月現在で64名（重複やクラブ等も含む）のワイズメンよりサポートファンドに対する献金があり、予想を大幅に上回る総額3,470,465円となりました。東日本区のための尊い献金を感謝いたします。

## (3) 2024-2025年度の東日本区財政状態の見通し

昨年までの予算の執行状況を継続していたら、今期中又は来期中に東日本区の一般会計は破綻していた恐れがありました。上記(2)の各種対策の結果、財政破綻は免れることになりました。そしてサポートファンドによる支援が予想よりも大きなものとなりました。

4月4日に今期の2024年7月から2025年3月までの中間決算報告書に対する会計監査が行われ、中間決算から今年度の決算見通しとして、繰越剰余金は500万円近く、計上出来る見通しとなっております。今期で2020-2021年度の水準まで戻ることが出来ました。仮にサポートファンドの献金がなかったとしても、今期の一般会計の決算は収支差額なしとの見通しになりました。

ここ4年間あまり、東日本区一般会計は急降下を続け、地面に激突する恐れがありましたが、何とか経費節減で水平飛行に戻り、さらにサポートファンドの大きな支援により、上昇飛行となりました。感謝を申し上げます。

---

# 地域奉仕・YMCA サービス事業

地域奉仕・YMCA サービス事業主任 廣田 光司(千葉クラブ)

## I. 年初の目標

1. 地域奉仕活動の良い事例を各クラブに紹介・表彰することで各クラブのクラブライフの充実の手助けをすると共に一般社会に対して広報をする。
2. プロボノリストの活用と更新を継続する。
3. ユースアクションに関してユース事業委員会と協力をする。
4. 環境問題への関心を高め、メンバーに地球に優しい生活を奨励していく。

## II. 成果概要

### 1. 活動

- ・地域奉仕活動の良い事例を各クラブに紹介するために CS 活動リストの中から選択をしワイズナイトフォーラムⅡを開催した。
- ・プロボノリストの作成を継続し、東日本区のホームページに掲載を依頼した。
- ・各クラブに W4W の実施を呼びかけた。

### 2. 事業委員会開催

6 回開催（2 ヶ月に 1 回） 19 時～20 時 30 分 リモート開催

内容 ワイズナイトフォーラムⅡについて、プロボノリストの件  
W4W の件、東日本区 CS・Y サ・ASF 資金支援の件 等

## III. 問題点

- ・プロボノリストの内容を更に更新する必要がある。
- ・W4W の実施クラブを更に増加する必要がある。
- ・ワイズナイトフォーラムの継続開催。

## IV. 引き継ぎ事項

- ・プロボノリストの作成の継続依頼。
- ・CS 活動リストの更新をする。
- ・W4W の実施クラブを増やす。
- ・ワイズナイトフォーラムの継続開催。
- ・CS 国際表彰への応募を促進する。

---

# 会員増強事業

## 会員増強事業主任 進藤 重光(東京)

東日本区の会員増強に資する事業を踏まえ、現在の日本社会にどのようなニーズがあるのか、事業活動の何をイノベーションすべきかを念頭に、以下の参加や協力活動をして参りました。①ワイズの存在と活動が知られていない現状を踏まえ、SNS を始めとする広告宣伝の強化。②グループダイナミクスを意識したコミュニケーションと現状分析からの協力関係の再構築。③YMCA をサポートするためのワイズ活動の再確認とネットワークを生かした合同例会の協働共催。皆様のご支援ご協力に深く感謝申し上げます（敬称略）。

### ・東京 YMCA 機関紙「東京 YMCA」における「ワイズコーナー」の連載

7・8 月合併号（「ワイズの主な事業紹介」進藤）、9 月号（「会員増強事業」進藤）、10 月号（「地域奉仕・YMCA サービス事業」廣田光司主任）、11 月号（「国際・交流事業」山本剛史郎主任）、12 月号（「ユース事業」三田庸平主任）

1・2月号（「ワイズが目指すユースエンパワメント①SDGs ユースアクション」山田公平理事）、4月号（「ワイズが目指すユースエンパワメント②増え続ける不登校児」同理事）、5月号（「不登校児への取り組みから③」同理事）、6月号・準備中（「世界につながるワイズメンズクラブ」利根川恵子直前アジア太平洋地域会長）の制作編集

・**東日本区の EMC の現状報告と方向性についての協議**

日時：2024年11月7日（木） 場所：東日本区会議室（委任を含む・オンライン）

山田公平区理事、山下真次期区理事、大和田浩二区書記、会員増強事業委員会委員長 進藤重光（東京）、北海道部主査・中村義春(十勝)、北東部主査・石川光晴（石巻広域）、清水川洋（仙台広瀬川）、関東東部主査・金丸満雄（東京ひがし）、東新部主査・加藤義孝（東京）、あずさ部主査・長谷川あや子（東京八王子）、湘南沖縄部主査・佐藤節子（厚木）、富士山部主査・榎本博（伊東）

・**大和クリエイティブ Y サービスクラブのチャーターへの参加・協力**

日時：2024年11月24日(日) 場所：北京飯店 ワイズメンズクラブ国際協会認証授与式

湘南・沖縄部部长 久保勝昭（横浜つるみ） 会長 小松仲史、菊池節子、宇井崇、長本穂、渡辺伸明、植木陽子、竹野美歩、五十嵐俊哉

・**川越クラブ 25 周年記念例会への参加・協力**

日時：2024年12月1日(日) 場所：レストラン「エルミタージュ」

川越クラブ 25 周年記念例会・懇親会 会長 利根川太郎

・**東新部「EMC セミナー」への参加・協力（事業委員会より会員増強についてのお願い）**

日時：2025年3月1日(土) 場所：東京 YMCA 東陽町センター、オンライン

東新部部长 今井武彦（東京むかで）、LT 委員長 伊藤幾夫（東京多摩スマイル）

発題者：東新部・石田孝次（東京多摩スマイル）、あずさ部・山口直樹（東京武蔵野多摩）、関東東部・金丸満雄（東京ひがし） 協力：関東東部：東京江東、東京グリーン、東京ひがし、あずさ部：東京西、東京武蔵野多摩、東京サンライズ、東京八王子、東京たんぽぽ、東新部：東京、東京むかで、東京町田コスモス、東京多摩スマイル、東日本区会員増強事業委員会

・**「一性の多様性の科学ー 生物学的・医学的立場からの LGBTQ+」（予定）**

ゲスト 小林牧人氏（東京学芸大学環境教育研究センター研究員・国際基督教大学元教授）

日時：2025年5月13日(火) 場所：東京 YMCA 東陽町センター、オンライン

主催：東京ワイズメンズクラブ（ワイズ・YMCA の DEI 研修としての例会） 協力：東日本区会員増強事業委員会

・**「YMCA とワイズの『C』（キリスト教）って何？」講座の開講（仮題・準備中）**

講師：有住航氏（日本基督教団下落合教会牧師・農村伝道神学校講師・元日本 YMCA 同盟学生 YMCA 担当主事）

日時：2025年6月のいずれかの日曜日 場所：オンライン 主催：東日本区会員増強事業委員会

2024. 5. 1～2025. 4. 30入会者一覧（部・クラブ別）（転入・再入・休会復帰・担当主事含む）

	入会日	部	クラブ	入会者	紹介者・他	
1	2025/1/17	1. 北海道部	北見	廣木保博	古賀勝巳	1
2	2025/1/15	2. 北東部	宇都宮	岡田光善	大久保知宏	
3	2025/1/15	2. 北東部	宇都宮	服部 慧	大久保知宏	
4	2024/7/1	2. 北東部	仙台青葉城	竹内 聰（転入）	菊地弘生	
5	2024/7/13	2. 北東部	那須	塩澤達俊（転入）	担当主事	
6	2025/4/12	2. 北東部	もりおか	梶原昌五	長岡正彦	
7	2024/12/18	2. 北東部	仙台広瀬川	橋本俊博	関川祐一郎	
8	2024/7/26	2. 北東部	石巻広域	梶原友広	加藤雄一	
9	2024/7/26	2. 北東部	石巻広域	石井龍子	川上直哉	
10	2025/3/11	2. 北東部	石巻広域	川上 恵	川上直哉	9
11	2024/4/1	3. 関東東部	東京江東	井口 真	(担当主事)	
12	2025/4/17	3. 関東東部	東京江東	佐藤アドリエン	井口 真	
13	2025/4/17	3. 関東東部	東京江東	小松康広	井口 真	
14	2024/7/1	3. 関東東部	東京グリーン	新倉雅隆	目黒 卓	
15	2024/11/16	3. 関東東部	埼玉	高岡敏夫	浅羽俊一郎	
16	2025/2/2	3. 関東東部	所沢	柿原正義	澁谷弘祐	
17	2024/7/11	3. 関東東部	東京ひがし	大澤篤人（転入）	沖 利柯	
18	2024/11/14	3. 関東東部	東京ひがし	木村卓司	沖 利柯	8
19	2024/6/11	4. 東新部	東京	渡邊実帆（転入）	加藤義孝	
20	2025/1/14	4. 東新部	東京	佐々木行恵	渡邊実帆	
21	2024/7/1	4. 東新部	東京多摩スマイル	峰 毅（転入）	伊藤幾夫	3
22	2024/6/30	5. あずさ部	東京西	村野 繁（転入）	神谷幸男	
23	2025/2/13	5. あずさ部	東京サンライズ	今村由紀	御園生好子	
24	2024/7/2	5. あずさ部	甲府21	志村直樹	荻野 清	
25	2024/7/2	5. あずさ部	甲府21	江口英雄	野々垣健五	
26	2024/7/2	5. あずさ部	甲府21	平田耕治	奈良田和也	
27	2024/12/7	5. あずさ部	甲府21	武井教子	小澤公紀	
28	2025/4/26	5. あずさ部	東京八王子	西島健太	菅野牧夫	
29	2025/4/17	5. あずさ部	東京たんぼぼ	望月 温	(担当主事)	
30	2025/5/14	5. あずさ部	甲府やまなみ	田草川 啓	(担当主事)	9
31	2025/4/1	6. 湘南・沖縄部	横浜	菅原 歩	佐竹 博	
32	2024/7/1	6. 湘南・沖縄部	鎌倉	若木一美（転入）	千葉裕子	
33	2024/7/1	6. 湘南・沖縄部	鎌倉	藤澤幸隆	板崎淑子	
34	2025/3/26	6. 湘南・沖縄部	厚木	高橋絹代	佐藤節子	
35	2025/3/26	6. 湘南・沖縄部	厚木	浅見洋一	佐藤節子	
36	2024/7/1	6. 湘南・沖縄部	厚木	井筒幸乃	佐藤節子	
37	2024/7/1	6. 湘南・沖縄部	横浜つづき	三木直子	鈴木 繁	
38	2024/4/1	6. 湘南・沖縄部	横浜つるみ	益 聡	(担当主事)	
39	2024/11/1	6. 湘南・沖縄部	横浜つるみ	村中孝子	久保勝昭	
40	2024/11/24	6. 湘南・沖縄部	大和クリエイティブYサービス	小松仲史（転入）	小松仲史	
41	2024/11/24	6. 湘南・沖縄部	大和クリエイティブYサービス	宇井 崇	小松仲史	
42	2024/11/24	6. 湘南・沖縄部	大和クリエイティブYサービス	菊地節子（転入）	小松仲史	
43	2024/11/24	6. 湘南・沖縄部	大和クリエイティブYサービス	五十嵐俊哉	小松仲史	
44	2024/11/24	6. 湘南・沖縄部	大和クリエイティブYサービス	植木陽子	小松仲史	
45	2024/11/24	6. 湘南・沖縄部	大和クリエイティブYサービス	竹野美歩	小松仲史	
46	2024/11/24	6. 湘南・沖縄部	大和クリエイティブYサービス	長本真穂（転入）	小松仲史	
47	2024/11/24	6. 湘南・沖縄部	大和クリエイティブYサービス	渡辺伸明	小松仲史	18
48	2024/7/22	7. 富士山部	熱海	後藤武彦	日下智博	
49	2024/7/22	7. 富士山部	熱海	堀井大輔	日下智博	
50	2024/7/22	7. 富士山部	熱海	河村昌彦	橋本一実	
51	2024/12/15	7. 富士山部	熱海	大楠泰司	日下智博	
52	2024/5/13	7. 富士山部	伊東	河島紀美恵	金子正樹	
53	2024/7/8	7. 富士山部	伊東	山本絵津子	榎本 博	
54	2024/7/1	7. 富士山部	下田	櫻井浩行（転入）	長田俊児	
55	2025/1/22	7. 富士山部	熱海グローリー	亀山 烈	綾野憲夫	
56	2025/1/22	7. 富士山部	熱海グローリー	田村公平	綾野憲夫	
57	2024/7/1	7. 富士山部	御殿場	秋田 敬	杉山博恵	
58	2025/1/1	7. 富士山部	御殿場	岩田郁代	前原末子	
59	2024/7/1	7. 富士山部	富士宮	三上 敦	担当主事	13

# 国際・交流事業

国際・交流事業主任 山本 剛史郎(川越)

1. 事業主題：楽しもう！ワイズの広がり、繋がり

2. 活動報告：

・ワークキャンプ

今年度、諸事情により、ワークキャンプを実施することができませんでした。次年度（2025～2026年度）には実施したいと思います。

・BF 代表派遣

BF 代表者：為我井 輝忠氏（東京多摩スマイルクラブ）

訪問日程：2024年11月20日～12月10日（22日間）

訪問先：ネパール（カトマンズ、ルンビニ、ポカラの3都市）

報告会：2025年1月23日（木）20:00、zoomによる報告会、他

報告書：下記のリンクの通り。

<https://drive.google.com/drive/folders/1kLAJT3zDP1REMSYwPoR6jgJdXljqSIqe?usp=sharing>

課題：今後、青少年ワークキャンプ、訪問交流事業について検討している

・BF 代表受け入れ

BF 代表者：クリシュナン・ベンカテッシュ氏

（南西インド地域コラム・ロイヤルクラブ）

日程：2025年1月26日～2月9日（15日間）

同行者：ハリハラン・ジャヤンティ氏

訪問先：関東東部、東新部、富士山部

報告書：下記のリンクの通り。

<https://drive.google.com/drive/folders/1oeWLCGHBN0KvfIpFHC8HgwOejmJTmkW0?usp=sharing>

・TOF プロジェクト

プロジェクトID：TOF 24-03

プロジェクト名：長期間学校に通えない児童・生徒への対応

概要：長期にわたって不登校になった生徒を対象に、構造と教育への復帰を提供するさまざまなセミナーやキャンプを運営するために TOF 資金を要請します。

3. 今後の課題：「若者に異なる世界を見せたい」ワークキャンプ、訪問交流事業の実施。

TOF プロジェクトの推進

RBM（ロール・バック・マラリア）事業の継続

BF 事業の推進・継続

2024-2025年度クラブ別各種献金一覧

自動入力

2025/4/28

クラブ名	基礎人数		BF		TOF		1,000		1,500		ASF		500		FF		500		RBM		700		YES		500		ユニズ支援		500		YULI有印書		合計
	人数	現金	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	現金	印券	
1 札幌	13	0	0	0	0	36	0	0	0	43	0	0	31	0	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	20,000		
2 北見	10	0	0	0	0	36	0	0	0	43	0	0	31	0	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	20,000		
3 十勝	13	13,000	0	13,000	1,000	1,000	10	13,000	1,000	1,000	6	19,500	0	6,500	500	4	9,100	700	8	6,500	500	6	6,500	500	6	6	0	0	20,000	107,100			
4 道台	10	0	2,100	2,100	210	31	10,000	1,000	6	15,000	0	15,000	1,500	5	0	31	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	47,100		
5 前橋	6	0	0	0	0	36	0	0	0	43	0	0	31	0	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	20,000		
6 宇都宮	28	0	0	0	0	36	56,000	2,000	2	42,000	0	42,000	1,000	2	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	174,000		
7 仙台営業	17	17,000	0	17,000	1,000	1,000	10	17,000	1,000	6	25,500	0	25,500	1,500	5	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	96,500	
8 宇都宮	6	0	0	0	0	36	0	0	0	43	0	0	31	0	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	20,000		
9 新潟	7	0	0	0	0	36	0	0	0	43	0	0	31	0	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	20,000		
10 毛呂山	16	16,000	112	16,112	1,007	9	16,000	1,000	6	24,000	0	24,000	5	8,000	500	4	11,200	700	8	8,000	500	6	8,000	500	6	6	0	0	20,000	127,312			
11 仙台営業	10	0	0	0	0	36	10,000	1,000	6	15,000	0	15,000	1,500	5	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	45,000		
12 石巻広域	15	15,000	0	15,000	1,000	1,000	10	10,000	667	36	22,500	0	22,500	1,500	5	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	90,000	
13 東京江東	21	21,000	0	21,000	1,000	1,000	10	21,000	1,000	6	31,500	0	31,500	1,500	5	10,500	500	4	54,700	2,605	1	10,500	500	6	6	0	0	0	0	20,000	207,700		
14 千葉	9	3,500	0	3,500	389	30	3,500	389	38	13,500	0	13,500	1,500	5	3,500	389	22	3,500	389	29	3,500	389	25	3,500	389	25	0	0	20,000	62,000			
15 東京グリーン	12	12,000	4,998	16,998	1,417	1	12,000	1,000	6	18,000	0	18,000	1,500	5	6,000	500	4	8,400	700	8	6,000	500	6	6,000	500	6	0	0	20,000	106,998			
16 埼玉	6	0	0	0	0	36	6,000	1,000	6	10,000	0	10,000	1,000	5	0	26	4,200	700	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	39,200		
17 仙台営業	10	0	0	0	0	36	10,000	1,000	6	15,000	0	15,000	1,500	5	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	107,100		
18 東京むがし	11	0	0	0	0	36	11,000	1,000	6	0	0	0	43	5,500	500	5	5,500	500	4	9,100	700	8	6,500	500	6	0	0	0	0	20,000	60,700		
19 川越	10	10,000	0	10,000	1,000	1,000	10	10,000	1,000	6	15,000	0	15,000	1,500	5	5,000	500	4	7,000	700	8	5,000	500	6	6	0	0	0	0	20,000	87,000		
20 千葉	19	16,000	0	16,000	842	25	14,000	737	39	18,500	0	18,500	974	42	500	71	25	700	100	31	500	71	27	0	0	0	0	0	20,000	116,600			
21 東京	7	0	0	0	0	36	7,000	1,000	6	10,500	0	10,500	1,500	5	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	41,000		
22 東京むがし	8	4,000	0	4,000	500	28	5,600	700	35	8,000	0	8,000	1,000	38	4,000	500	4	5,600	700	8	4,000	500	6	6	0	0	0	0	20,000	58,400			
23 東京東区	12	12,500	4,200	16,700	1,392	2	12,500	1,625	3	20,500	0	20,500	1,708	3	6,000	500	4	8,500	708	7	8,000	667	3	0	0	0	0	0	20,000	118,200			
24 東京東区	18	18,000	0	18,000	1,000	1,000	10	18,000	1,000	6	27,000	0	27,000	1,500	5	9,000	500	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	92,000		
25 甲府	11	11,000	0	11,000	1,000	1,000	10	11,000	1,000	6	16,500	0	16,500	1,500	5	5,500	500	4	7,700	700	8	5,500	500	6	6	0	0	0	0	20,000	93,700		
26 東京東区	6	0	0	0	0	36	6,000	1,000	6	9,000	0	9,000	1,000	5	0	26	3,000	500	26	3,000	500	26	3,000	500	6	0	0	0	0	20,000	56,000		
27 東京東区	9	5,000	0	5,000	556	27	5,000	556	37	7,500	0	7,500	833	40	2,500	278	29	2,500	389	29	2,500	278	26	0	0	0	0	0	20,000	53,500			
28 東京サンプラザ	14	15,000	282	15,282	1,089	6	15,000	1,071	5	22,500	0	22,500	1,607	4	7,500	536	3	10,500	750	6	7,500	536	5	0	0	0	0	0	20,000	126,762			
29 甲府21	41	41,000	0	41,000	1,000	1,000	10	0	0	40	61,500	0	61,500	1,500	5	20,500	500	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	184,000		
30 東京	12	12,000	390	12,390	1,029	7	12,000	1,000	6	18,000	0	18,000	1,500	5	0	31	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	82,750		
31 東京八王子	5	6,000	360	6,360	1,272	4	6,000	1,600	4	11,000	0	11,000	2,200	1	5,000	1,000	2	4,000	800	2	3,000	600	4	0	0	0	0	0	20,000	71,560			
32 東京八王子	12	0	234	234	20	33	12,000	1,000	6	18,000	0	18,000	1,500	5	0	31	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	70,634		
33 埼玉	6	6,000	0	6,000	1,000	10	0	0	0	40	9,000	0	9,000	1,000	5	0	26	4,200	700	8	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	45,200			
34 埼玉	11	0	120	120	11	35	0	0	0	0	0	0	43	0	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	20,120		
35 甲府やまなみ	14	11,000	0	11,000	786	26	11,000	786	32	16,500	0	16,500	1,179	37	5,500	393	26	5,500	550	25	5,500	393	24	0	0	0	0	20,000	93,700				
36 横浜	10	9,000	0	9,000	900	24	9,000	1,000	6	13,500	0	13,500	1,350	33	4,500	450	25	4,500	450	24	4,500	450	22	0	0	0	0	20,000	80,300				
37 横浜	9	0	0	0	0	36	9,000	1,000	6	13,500	0	13,500	1,500	5	0	26	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	47,000		
38 厚木	10	0	0	0	0	36	12,000	1,000	6	12,000	0	12,000	1,200	34	0	0	26	8,000	800	5	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	40,500			
39 金沢八景	10	0	0	0	0	36	12,000	1,000	6	12,000	0	12,000	1,200	34	0	0	26	8,000	800	5	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	40,500			
40 横浜つづき	16	0	0	0	0	36	12,000	1,000	6	12,000	0	12,000	1,200	34	0	0	26	8,000	800	5	0	0	0	0	0	0	0	0	20,000	40,500			
41 横浜つづき	12	12,000	0	12,000	1,000	1,000	10	0	0	40	18,000	0	18,000	1,500	5	0	31	6,000	500	4	0	0	32	0	0	0	0	0	20,000	80,000			
42 大和パレオピア	8	8,000	0	8,000	1,000	1,000	10	8,000	1,000	6	10,000	0	10,000	1,250	34	4,000	500	5	0	26	8,800	1,100	3	4,000	500	6	0	0	20,000	70,800			
43 大和パレオピア	36	36,000	0	36,000	1,000	1,000	10	36,000	1,000	6	54,000	0	54,000	1,500	5	18,000	500	4	25,200	700	8	50,760	1,410	2	0	0	0	0	20,000	293,960			
44 大和パレオピア	9	9,000	232	9,232	1,028	8	9,000	1,000	6	13,500	0	13,500	1,500	5	4,500	500	4	6,300	700	8	4,500	500	6	0	0	0	0	20,000	80,552				
45 大和パレオピア	11	13,000	0	13,000	1,182	5	13,000	1,182	2	16,900	0	16,900	1,773	2	16,900	1,182	1	9,100	827	4	15,600	1,418	1	0	0	0	0	20,000	146,100				
46 大和パレオピア	7	0	0	0	0	36	7,000	1,000	6	10,500	0	10,500	1,050	5	0	31	0	0	32	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,000	40,530		
47 大和パレオピア	5	0	0	0	0	36	4,000	800	31	6,000	0	6,000	1,200	36	0	0	26	0	0	32	0	0	35	0	0	0	0	20,					

---

# ユース事業

ユース事業主任 三田 庸平（もりおか）

## 【活動について】

### ① YVLF（9/6～9/8）東京 YMCA 山中湖センター 実行委員長 城田教寛

今年度は不登校の問題についての講演（講師：熊本 YMCA 伊藤眞太郎氏）を聞いてグループワークを行いました。不登校の話聞いて各グループの特色が見られた時間を過ごしていました。開催中に実行委員長の故城田教寛さんが亡くなってしまいましたが、城田氏の意味を受け継ぎ最後までやり遂げられたと思います。

### ② IYC ドバイ

ドバイで行われた IYC には東日本区から 2 名の派遣を行いました。プログラムが出てないなど戸惑いがありましたが、期待ある若者が参加しました。

帰国後には多くのワイズの方々、YMCA の関係者の皆さんをお招きして Zoom で報告会を開催。熊本で行われる AYC に向けて繋げられる期待をもてました。

※実行委員会に入っていました、下山さんは実行委員会の出席や提出物の遅延等が目立ち、残念ながら続けられることが出来なくなり、実行委員会を抜けております。

### ③ ユースアクション

昨年度選ばれたユースチームの状況を拾いながら活動を支援してきました。

報告会には日本全国の YMCA 関係者・ワイズ関係者の皆さんに参加して頂きました。

### ④ 月 1 回のユース委員会

毎月 1 回開催し、こまめに情報共有をして参りました。

---

# 北海道部

北海道部部长 柴田 伸俊（札幌）

## 1. 部長主題

Well Being なワイズライフを 「健康で楽しいワイズライフを」

## 2. 部の目標達成状況

- ・YMCA との協働強化 計画していた事業はおおむね実施された。
- ・ユースアクションに関して  
グッドドライブ（札幌リーダー会）が年間 3 回（8 月、10 月、12 月）実施  
2025 年 3 月 16 日全国のユースアクション 10 組の中で発表（Zoom）を実施

## 3. 部会概要

2024 年 8 月 31 日（土）北海道部会 札幌（豊平館） 参加者 25 名

## 4. 部評議会

2024 年 8 月 31 日（土） 第一回評議会 札幌（豊平館）  
2025 年 4 月 19 日（土） 第二回評議会 滝川（ホテル三浦華園）  
2025 年 6 月 29 日（日） 第三回評議会 リモートにて開催予定

## 5. 部の主要活動

YMCA との協働  
YMCA チャリティーラン協賛、ピンクシャツデー実施、  
チミケップキャンプワーク 2025 年 6 月 14～15 日実施予定

## 6. クラブ公式訪問

2024年9月17日(土) 十勝クラブ

2025年1月17日(金) 北見クラブ

## 7. クラブの状況概要

札幌クラブ

ユースとの交流に力を入れており、例会に卓話者として招いたり、学Yやリーダーに声掛けしての懇親会実施は今後期待できる。

十勝クラブ

しっかりした例会をホテルで実施。関係者に声掛けしてのビジターを募る努力は他のクラブも参考にしたい。

北見クラブ

年明けに新入会員1名の参加で今後のクラブの活躍に期待したい。

★ クラブ間交流を目標に今年度ワイズスキーやワイズ温泉を実施してみた。

楽しい集りが開催出来たので、来年度は回数を増やしていきたい。

## 8. 北海道部の課題と反省点

- ・ 事業主査の仕事を明確にとの思いでスタートしたが具体的な手が打てず1年が経過してしまった。
- ・ クラブ間交流をもっと積極的に実施していきたい。
- ・ 評議会等の事務的な集りだけでなく、家族間で交流できる楽しいワイズ活動に重きを置きたい。

---

# 北東部

北東部部長 大久保 知宏(宇都宮)

## 1. 部長主題

主題：戦略2032を意識して

副題：ユースと共にクラブのミッションを育てよう

## 2. 活動方針

それぞれのクラブ運営について「戦略2032」に沿った戦略を意識させることに注力します。

特に下記に掲げる「鍵となる戦略」をすでに進めているクラブにはより深化を、未実施のクラブには新しいテーマとして取り組みを促します。

今年度の北東部は、上記の主題・活動方針で活動してまいりました。戦略2032を部内での理解を深め、活動に繋げることは道半ばとなりました。

評議会は11月23日にハイブリッド形式で開催いたしました。チーム・イノベーションの答申、戦略2032を共有し、議論いたしました。予算案、足利クラブ解散など4つの議案審議いたしました。

もりおかクラブの三田庸平氏を次期部長に選任いたしました。また、予算案において、YVLF負担金1クラブ辺り2万円については、一人当たり800円とし、不足分については部一般会計予算から支出することが決定いたしました。

北東部大会は、2024年9月28日(土)、福島市市民活動サポートセンターを会場として。参加者19名と少人数での開催となりましたが、大島博幸牧師(福島主のあしあとキリスト教会)による「福島

の地での YMCA 活動への思い」、山田公平東日本区理事による「不登校児への取り組み」という二つの講話をいただきました。

大島博幸牧師の講話では、福島に住む方々が今なお抱えている放射線被害への不安、そしてその不安を口に出しにくい雰囲気があることなど、現地にいるからこそ分かる問題をお話し頂きました。原発事故に翻弄される方々にどう寄り添っていけばいいのか、そういった課題に取り組むためにも、今こそ福島に新しい YMCA、ワイズメンズクラブが必要である、との呼び掛けを頂きました。

山田公平理事の講話では、日本において特に根深い不登校の問題についてお話し頂きました。学校に馴染めない子どもたちの居場所をつくるために、YMCA、ワイズができることを皆で一緒に考え、活動していくべく、まずは宇都宮ワイズメンズクラブ主催で不登校児に関する連続講演会を開催することが発表されました。

---

## 関東東部

### 関東東部部長 山本 剛史郎(川越)

①部長主題 我々は微力かもしれないが、無力ではない！

We may be weak, but we are never powerless!

②部の目標達成状況

可もなく、不可もなく。現状維持。

③部会概要（年月日、場所、出席者数）

2024年10月19日（土）、関東東部大会・ウエスタ川越、参加人数：55名  
Creative Arts Tokyo のみなさんによるミュージカル鑑賞を行いました。

④部評議会（年月日、場所、参加者数、主要決定事項）

2024年7月20日（土）、ウエスタ川越。部長選出方法の変更がなされた。  
2025年5月17日（土）、東京 YMCA 東陽町センター

⑤部の主要活動（部報、部長通信等）

部報第一号、2024年9月1日発行

BF 代表者（K.ベンカテッシュ氏御夫妻）の受け入れ、2025年1月26日（日）～2月9日（日）  
関東東部レクレーション「江戸城ウォーク」、2025年4月5日（土）

⑥クラブ公式訪問

東京グリーン、2024年8月21日（水）、入会式

川越、2024年8月24日（土）

千葉・千葉ウエスト、2024年8月31日（土）、合同納涼例会

埼玉・所沢・川越、2024年10月12日（土）、合同例会

東京江東・東京グリーン・東京ひがし、2024年10月17日（木）、合同例会

埼玉、2024年11月16日（土）、入会式

川越、2024年12月1日（日）、川越クラブ25周年行事

所沢、2025年2月2日（日）、BF代表訪問、入会式

東京江東・東京グリーン・東京ひがし、2025年4月17日（木）、合同例会、入会式

#### ⑦クラブの状況概要

メンバーの固定化が目立つ。適度に新陳代謝が行われると良いのだが、それでも関東東部は比較的頑張っていると思う。

#### ⑧その他 評価反省、問題点等

部大会に力をいれるのではなく、部主催によるEMC対策、集まりが必要だと感じた。そのためには4月に行ったレクレーション企画がもっと開催したい。

---

## 東新部

東新部部长 今井 武彦(東京むかで)

主題「ALL 東新部、試練を越えて進もう!」

スローガン：私たちは、ワイズ・YMCAに連なる人々の「地の塩、世の光」になろう!」

#### 1. 目標達成状況

- ・期初に「東新部の進むべき道を考え、一步一步高みに向かおう。」としてスタートしたら、8月にセンチアルクラブの解散申出(11月解散)があり、9月には城田部事業主查の急逝に遭遇。
- ・東新部の期初会員数60名。期末会員数見込み55名。

#### 2. 部大会概要

開催日：10月5日（土）13：30～17：00 場所：東京YMCA東陽町センターYMCAホール

参加者：60名（Zoom参加4名、来賓・ゲスト10名）

プログラム：第1部 式典、第2部 終活セミナー（エンディングノート作成教室）第3部 懇親会

#### 3. 部評議会

第1回：7月20日（土）YMCA東陽町センター 出席義務者21名のうち14名出席

- ・2024-2025年度次期部長選任。・2025-2026年度部大会実行委員を各クラブより1名選出承認。

第2回：11月23日（土）YMCA東陽町センター出席義務者19名のうち16名出席

- ・2024-2025年度次期部長の交代承認。新次期部長選出。
- ・従来のクラブ輪番制の部大会幹事制を排し、部大会実行委員会を組成した。
- ・東新部規定・内規改定・廃止し、新たな内規を制定。

第3回：4月26日（土）YMCA東陽町センター 出席義務者18名のうち17名出席

- ・次期部長方針・活動計画・予算案を承認。・2025-2026年度次期部役員・クラブの選任承認。
- ・次次期部長の選任できず。

#### 4. 部の主要活動

- ・部報は、7月に当期第1号を発行した。
- ・Zoomにより毎月第2水曜日夜にクラブ会長会、第2木曜日夜にY友広場（だれでも参加可）を

開催し、部・クラブ間の交流を深めた。特に、Y友広場の有志主導により、ワイワイウォーク、ワイワイキッチン等を開催し、他部の方との交流もできた。

- ・12月部本体が中心となって、前期より交流を始めたNPO法人メタノイアとの接触を深め、事業所訪問、部評議会でのメタノイア代表理事の活動報告、部としての支援金実施。
- ・EMCセミナーを3月に開催。29名の参加者を得た。特に、あずさ部、関東東部の在京クラブの参加者を得て、今後、部の枠を越えての交流を活発化することで一致した。
- ・11月BF代表として為我井ワイズをネパールに派遣。1月には来日したBFのインド・ワイズ夫妻を接遇でき、ワイワイクッキングにも参加していただいた。

#### 5. クラブ公式訪問

- ・7月の傘下5クラブのうち4クラブの本例会出席。2月は、本例会出席1クラブ、第2例会出席（Zoom参加）3クラブ。計4クラブ。（11月センテニアルクラブの解散）

#### 6. クラブ状況その他

- ・現在、各クラブとも、高齢化・少人数化著しく、部・クラブ役職を担える人材不足に直面。

---

## あずさ部

あずさ部部长 Peter Mountford(甲府)

### 部長主題 めあてに望み

部の目標達成状況 国際協会のブースター賞は甲府21クラブに受賞。入・退会で部員は2名増。

部大会 10/19 シャトレゼホテル石和 東日本区のテーマ「ユース・エンパワーメントの実現」を基に、松本・長野クラブの支援の下能登半島で大学生がボランティア活動を報告と山梨YMCAユースリーダー会が活動を解説パフォーマンスを披露。出席者75名。

### 評議会（出席人数）

7/27 信濃の国評議会 松本、あがたの森公民館で松本クが主催 信濃の国にまつわる合唱（51名）

2/8 ワイワイ評議会 甲府、山梨YMCA、甲府21が主催 今後の部運営のグループ討議（51名）

5/10 富士北麓評議会 富士吉田青少年センター赤い屋根、富士五湖クが主催（予定）

### 公式訪問（5/5 現在）

	場所
7/2 甲府21クラブキックオフ例会と入会式：3名入会	かいてらす、甲府
7/9 甲府クラブキックオフ例会	談露館ホテル、甲府
7/11 東京サンライズクラブキックオフ例会	東京山手YMCA
7/14 長野クラブキックオフ例会 ハイブリッド卓話例会	長野市
7/18 東京西、東京たんぼぼYサービス、東京武蔵野多摩3クラブ 合同キックオフ例会 卓話例会・主任式・転入会式	東京山手YMCA
8/7 甲府やまなみクラブ 卓話例会	山梨YMCA
9/28 富士五湖クラブの第20回富士山例会	富士山、佐藤小屋
10/26 東京八王子クラブの30周年記念例会	八王子エルシイ
12/14 松本クラブ第26回アジア賞授賞式	松本市駅前会館
1/11 甲府やまなみが開催、山梨4クラブの合同新年例会	山梨YMCA
2/13 東京サンライズクラブ2月例会・入会式	東京山手YMCA（学生寮）

4/19	富士五湖クラブ主催第14回障害者フライングディスク大会	富士吉田パインズ公園
4/26	東京八王子クラブ W4W・4月例会・入会式	北野事務所、八王子市
5/14	甲府やまなみクラブ 5月例会・入会式（予定）	山梨 YMCA
5/24	山梨 YMCA チャリティーラン（予定）	小瀬スポーツ公園、甲府
その他		
7/13	東日本区第1回代議員会	Zoom 形式
11/4	山梨 YMCA バザー（山梨4クラブ参加）	山梨 YMCA
12/7	部長主任研修会・東日本区第2回臨時代議員会	Zoom 形式
3/8-9	次期会長・部役員研修会	東山荘
3/15	東京八王子クラブのチャリティーコンサート	八王子市北野市民センター
4/12-13	第3回東日本区役員会	日本 YMCA 同盟、四谷
4/27	東日本区臨時役員指名委員会	Zoom 形式

### クラブの状況・課題

少数人数クラブの生育、会員の高齢化と会員増強の課題は続いている。部員高齢化に対して、あずさ部の役職と行事等の負担を軽減に向かっている。しかし、会員になる関心低下は他組織にも影響を与えているので、会員増の課題解決の難しさを示唆している。

## 湘南・沖縄部

湘南・沖縄部部长 久保 勝昭(横浜つるみ)

部長主題「共に支え合い・共に喜びを」

2024年

- 7月13日 第1回東日本区役員会（Zoom）委任状
- 11日 つるみクラブ公式訪問：鶴見中央地域ケアプラザ 横浜クラブ 公式訪問：横浜中央 YMCA
- 26日 つづきクラブ 公式訪問：かけはし都筑 ○クラブ役員の就任式文を読みあげた。
- 27日 第1回評議会：とつか YMCA ○議案事項が5項目あったがスムーズに通過。
- 8月2日 第31回 AID 文化フォーラム、(8/2、3、4の内2、4日出席) かながわ県民センター  
○20年前にも参加したが、今回は以前より活発な活動がなされていることに驚いた。
- 3日 臨時役員会（WEB）、24日臨時代議委員会（WEB）
- 28日 厚木クラブ公式訪問：厚木 YMCA ○ハンドベルの演奏があり楽しい例会であった。
- 9月3日 103回 YMCA とワイズの協議会（12/3、3/4、6/3・年4回実施）横浜中央 YMCA  
○YMCA とクラブとの唯一の意見交換の場であり、素晴らしい企画である。
- 6・8日 ユースボランティア・リーダースフォーラム○（山中湖）古賀事業主査他2名参加
- 23日 横浜 YMCA フェスタ：とつか YMCA ○うたの広場を開催、演奏に参加。
- 29日 金沢八景クラブ公式訪問○八景クラブが企画支援しているサッカー大会に参加。
- 10月5日 横浜 YMCA140年記念礼拝：海岸教会、県民ホール ○140年の重みに感動した。
- 19日 第27回チャリティーラン○バリバラリンピック、銅メダリストの富田宇宙選手の、お話に感動。
- 26日 湘南・沖縄部、部大会（次次期部長選考会）：○佐藤節子氏（厚木クラブ）に決定。

- 11月9日 第2回東日本区役員会 (Zoom)  
 30日 第2回部評議会：とつか YMCA ○湘南・沖縄部より、かながわ部に改名を決定。  
 12月7日 部長・事業主任研修会 (Zoom) 厚木クラブ 20周年記念例会

## 2025年

- 1月18日 横浜 YMCA・湘南・沖縄部新年交流会：中華街・心龍 ○35名参加 楽しい一時であった。  
 2月8日 ヘルマンハープチャリティーコンサート (鎌倉クラブ公式訪問)：鎌倉市福祉センター  
 2月11日 横浜 YMCA 会員大会：とつか YMCA ○絵本作家、画家の浜田桂子先生の講演。  
 3月8・9日 次期クラブ会長・部役員研修会：東山荘 4月12・13日第3回東日本区役員会～委任状  
 4月26日 湘南・沖縄部ワイワイ交流会：三浦 YMCA グローバルエコ・ヴィジジ○各クラブの担当主事を含め31名参加、卓球大会やバーベキューで楽しい交流の場となった。  
 5月24日 第4回東日本区役員会 (Zoom)  
 6月07日 代議員委員会：7・8日第28回東日本区大会 (宇都宮)

※大和クリエイティブ Y サービスクラブ、チャーターナイトまでの経緯。

準備会4回、9月14日：設立総会 (大和商工会議所)、11月24日チャーターナイト (北京飯店)  
 ○大和市長、座間市長、佐竹総主事、山田理事、ワイズメンと多数の方が来られ盛大に行われた。



2024 10月26日 湘南・沖縄部 部大会



2025年4月26日 ワイワイ交流会集合写真

## 富士山部

富士山部部長 相磯 優子(沼津)

1.部長主題:たゆたえども沈まず

2.活動方針:東日本区における活動内容、動向などを各クラブメンバーレベルにまで届ける、また可能なかぎり富士山部の声を東日本区へ届けたいと考えます。東日本区全体の課題でもあり、富士山部でも最優先解決課題でもあるクラブメンバーの減少は、クラブ、部の役員人事、部長選出などにおいて、大変重い足かせとなっています。メンバーの増強も必要ですが、役職、その業務量を見直し、シンプルに軽量化することにより、誰もが公平に役職を担える雰囲気醸成したいと強く思います。

3.富士山部大会 日時：2024年10月12日 会場：時之栖 (御殿場) 参加者：80名

阪神淡路大震災、東日本大震災、熊本地震等の過去の災害で YMCA が行ってきた支援活動の内容、果たしてきた役割について歴史を振り返り、その YMCA の活動を支えたワイズメンズクラブの事例も紹介された。

また、いくつもの災害支援活動を進めた中で、全国 YMCA で構築されたエリアセーフティの仕組みも紹介がされた。加えて 2024 年元旦に発生した能登半島地震支援活動報告では避難所支援やリフレッシュキャンプがなされ、9月に発生した豪雨災害での YMCA の水害ボランティア派遣活動

状況の報告がされた。卓話者：日本 YMCA 同盟 主任主事 有田 征彦様

#### 4. 評議会

第 1 回（7 月 20 日、於プラザヴェルデ）

第 2 回（1 月 25 日、於プラザヴェルデ）

継続検討事項としてユースボランティアフォーラム負担金（20,000 円）を絶対額ではなく一人当たり方式への移行にむけて、各クラブのコンセンサスを図る旨の提案がなされた。

第 3 回（5 月 10 日、於静岡 YMCA）

#### 5. 活動

2024 年 10 月 19 日 あずさ部部大会出席

2024 年 10 月 20 日 熱海グローリークラブ 40 周年記念例会出席

2024 年 10 月 26 日 東京八王子クラブ 30 周年記念例会出席

2024 年 11 月 9 日 第 2 回東日本区役員会（Zoom）出席

2024 年 11 月 23 日 熱海クラブ第 17 回ドッチボール大会出席

静岡 YMCA 第 38 回中学生英語スピーチコンテスト出席

2025 年 1 月 13 日 伊東・下田合同例会出席

2025 年 1 月 21 日 沼津・三島・御殿場合同例会出席

2025 年 1 月 22 日 熱海・熱海グローリー合同例会出席

2025 年 1 月 28 日 富士・富士宮合同例会出席

2025 年 2 月 6 日 BF 代表富士山部歓迎会開催 会場：日本 YMCA 東山荘 参加者：40 名

2025 年 3 月 8・9 日 次期会長・部役員研修会出席

2025 年 3 月 16 日 Y's×SDG s YouthAction2024 報告会（Zoom）参加

#### 6. その他

部の人事、部報発行などスリム化で運営を行ったことの弊害は無かったように思うが、EMC の活性化については着手できなかったことを猛省しております。

---

## 文献・組織検討委員会

文献・組織検討委員会委員長 大久保 知宏(宇都宮)

チーム・イノベーションの答申があり、委員会においてどのように検討課題について取り込んでいくかを山田理事と調整いたしました。その中で部の役割について検討を進めるよう指示があり、下記のような案をベースに検討しております。

東日本区チーム・イノベーション答申

部、部長、部事業主査の役割の見直しを行い、それに合わせた組織体制、業務分担を定める。

部、部長、部事業主査が果たすべき役割と、現状および課題を明確にし、部の負担を減らすために、望ましい組織体制、区との業務分担について検討します。部が真に必要なかについても踏み込んだ議論

が望まれます。

部の設置については、国際憲法、アジア太平洋地域憲法では特に規定はなく、東日本区定款では「2以上のクラブが、活動をさらに効果的、効率的に行うために、部を設けることができる」(第4条第1項)と定められています。

山下次期理事より第3回東日本区役員会で示された定款、定款施行細則、諸規定の変更案について当委員会に諮問されたことを受けて、年度末において委員会を開催した。

---

## LT委員会

LT委員長 山口 直樹(東京武蔵野多摩)

### I 今年度方針

- ・理事キャビネットの方針に基づき、現状の問題点を広く認識し、今後に向けての具体的な認識を東日本区の主任・部長・会長・その他ブキャビネットの多くのメンバーと共有し、今後の方向のヒントをつかむことを考えて、2回の研修会を実施する。

### II 活動報告

#### ・部長・主任研修会

日時：12月7日(土)午後2時 33名参加 Zoomにて開催

参加対象者：現次期部長と現次期主任

**内容**：現部長が認識している部の問題点をたたき台に、33名の参加者で部の在り方からワイズの在り方までの問題のあぶり出しと、方向へのヒントを出せたと思う。

#### ・次期会長・部役員研修会

日時：3月8-9日 72名参加 リアル開催

会場：御殿場東山荘

参加対象者；次期会長・部役員、現部長・主任

**内容**：東日本区全体を対象としたリアルに直接話し合う貴重な機会として位置づけた。また、ディスカッションの時間を多くする中でかなり深く掘り下げられたと認識している。

#### ・今後の展望

二つの研修会の位置づけも従来と変わってきている。それぞれの役割についての教え込む研修ではなく、現在のワイズの現状の認識を共有し、地域の違いや特性も考慮しながら今後のワイズ活動の在り方を創造していく機会となってきたと感じる。次年度へ向けて検討していくことが求められると思う。また、LT委員会に求められるものも再検討すべき時とも感じている。

### III LT委員会開催

昨年6月より今年の3月まで、8回の委員会を開催した。

原則、山田公平現理事と山下真次期理事も参加していただき、キャビネットと綿密な連携をとるよう心掛けた。

# 東日本区ワイズ基金委員会

東日本区ワイズ基金委員会委員長 渡辺 喜代美(十勝)

ワイズメンズクラブ会員数の減少と大変厳しい状況ではありますが、ワイズ基金へ献金をお寄せいただき感謝申し上げます。

ワイズ基金への献金は、次のとおりとなっております。

## (1) 今年度 東日本区ワイズ基金献金者 (2024年7月～2025年2月)

	日付	献金者	クラブ	献金+利息	献金合計
-	7月1日	前期繰越金		14,574,551	
1	7月26日	利根川恵子	川越	30,000	
2	7月29日	十勝クラブ	十勝	100,000	
3	7月31日	小林 隆	熱海グローリー	10,000	
4	8月19日		みずほ銀行	302	
5	8月23日	長尾 昌男	千葉ウエスト	10,000	
6	9月27日	長谷川 等	沼津	10,000	
7	10月10日	東京多摩スマイル	東京多摩スマイル	17,500	
8	10月10日	東新部		17,500	
9	10月22日	東京サンライズ	東京サンライズ	30,000	
10	10月28日	小林 隆	熱海グローリー	10,000	
11	2月17日		みずほ銀行	1,897	
				237,199	235,000

## (2) 東日本区ワイズ基金現在額

期首繰越額	14,574,551 円
2025年2月	237,199 円
計	14,811,750 円

## (3) 東日本区ワイズ基金への献金のお願い

変革の時代を迎えた東日本区ワイズメンズクラブです。今こそ皆さんのお力添えが必要です。東日本区を支えてきたワイズ基金。「アタミ基金」から「日本ワイズ基金」へ、そして「東日本区ワイズ基金」となった歴史は、今年で50年を迎えます。

ワイズの皆さんの感謝が献金として積み立てられ、時代に併せて必要とされる事業を支えてきました。世界が不安定な時代ではありますが、ワイズの平和を願う思いをワイズ基金へ寄せていただければ幸いです。東日本区の未来をつなぐためにも、皆さんの献金が大きな役割を果たすと考えます。ひとりひとりのワイズメンズクラブへの思いが形となって、新たな時代を創造し、地域を発展させていくためにお力添え宜しくお願いします。



# ワイズメネット委員会

ワイズメネット委員会委員長 澁谷実季(所沢)

1. 事業主題 「ワイズメネットの交わりを深め、ワイズメンとの相互理解を深めよう」

2. 事業報告

ワイズメネット献金により実施いたしました。合計 89,300 円（前年度 158,000 円）

- ・ 献金のあったワイズ：石巻広域、東京江東、千葉ウエスト、東京多摩スマイル、甲府、東京サンライズ、甲府 21、東京八王子、熱海、沼津

国内事業	・ YMCA の子ども関連の施設への絵本贈呈事業	72,500 円（前年度 92,000 円）
	・ 東日本大震災支援	7,000 円（前年度 19,000 円）
国際事業	・ 国際 TOF プロジェクトへの献金	7,000 円（前年度 38,000 円）
	・ 国際会費の納入	2,800 円（前年度 9,000 円）

東日本区大会ワイズメネットアワーの開催（於：宇都宮、ランチ会）

3. 評価と展望

前年度から事業主題を継続し「ワイズメネットの交わりを深め、ワイズメンとの相互理解を深めよう」といたしました。しかし、委員会としての活動が十分に出来ず、ご心配をおかけしてしまったことを心よりお詫び申し上げます。

今年度、ワイズメネット委員会の活動が無く、献金依頼が十分ではなかったため、例年よりもかなり減額となっています。継続して献金くださったクラブに感謝申し上げます。なお、絵本贈呈事業について、2023-2024、2024-2025 年度分を合わせて実施する予定のため、年度末ではありますが、委員会を招集いたします。

次年度の委員長は、ワイズに経験豊かな利根川恵子メンが担ってくださいます。ワイズメネットの発展に向けて進めてくださいます。

---

## 法人推進委員会

### 法人推進委員会委員長 佐藤 重良(甲府 21)

法人推進委員会は当初 2023-24 年度の 1 年間ということでありましたが、東日本区内で一般社団法人となったことについて、クラブ会員に十分に周知されていないということで、2024-25 年度も継続して活動して参りました。任意団体から一般社団法人への大きな一歩を進めてくださった方々に深く感謝申し上げますと共に、この 2 年間に法人推進委員として参画してくださった方々、活動してくださった皆様方にお礼申し上げます。

「一社のメリットを活かした活動とは 何だろう？」

当初は、一社のメリットを活かした活動をしよう。とにかく実施してみよう！という掛け声でスタート致しました。具体的には、官・民の補助金・助成金等情報を収集し、申請・獲得して活動資金に充てましょう、ということです。一般社団は、任意の団体ではなく、法務局に登録されている法人であり、社会の公器として認められているから獲得しやすい、と考えました。ルールに則り活動することが求められる一方、補助金・助成金の対象になりやすい、ということです。これはキリン財団、子どもゆめ基金など、委員を通じて情報を発信するとともに、ワイズドットコムなどでも紹介してまいりました。法人推進委員会で把握しているものでは、これら補助金・助成金について 6 件申請を行い、2 件（合計約 50 万円）採択されています。

次に、山田理事から 一般社団から公益社団へランクアップできないか、と諮問がありました。これについては、時期尚早である旨答申書は提出致しましたが、2025 年法改正により、少しハードルは下がっていますので、引き続き検討をしていってはどうか、と考えております。

最近チーム・イノベーションからの提案の有ったクラブの中でファンドレイジングを行い、活動資金を獲得しようと企画立案をしています。またこれを受けて山下次期理事は、東日本区全体のファンドレイジングの1つとして、カレンダープロジェクトを計画されているのは、心強いことだと思っています。法人推進委員会としての機能は、東日本区内に引継ぎをすることになりますが、早く一般社団法人としての活動が活発になり、ワイズメンズクラブの発展に寄与するようになってほしいと願っております。

第1回法人推進委員会 2024年7月18日 11名出席

①2023-2024年度法人推進委員会活動報告 ②法人の公益化について答申書案

③2024-2025年度法人推進委員会活動目標

第2回法人推進委員会 2024年8月21日 10名出席

①答申書一部修正 ワイズは何をする団体化？公益と共益 一社→公社

②法人概要書修正について見積もり

③甲府クラブ 故布能寿英さんの「わたしの夢見るワイズメンズクラブ」 ワイズの岐路に際して。

第3回法人推進委員会 2024年9月19日 12名出席

①答申書まとめ 修正案で承認→2024.09.23提出 公益社団のメリットとデメリットを織りこむ

②法人概要書修正 ③一般社団としての自覚、PR ④法人推進委員会年度計画進捗

⑤令和6年度子どもゆめ基金助成金決定 2024.9.9（甲府21ほか）

第4回法人推進委員会 2024年10月17日 9名出席

①子どもゆめ基金申請について（2026年度通期 締切11月19日）

②法人推進委員会として何をするか 補助金・助成金申請支援 ～所沢クラブ 映画上映イベント

③名刺、ポスター、法人概要書の活用

第5回法人推進委員会 2024年11月21日 12名出席

①イノベーション答申書をもとに

②ファンド事業 各地の特産品ファンド、カレンダー

③東日本区の課題と方向性 社会課題、専門スタッフ、資金調達

第6回法人推進委員会 2024年12月19日 12名出席

①不登校支援 YMCAとの協働

②クラブ活性化とファンドレイジング CS・Yサとの連携

第7回法人推進委員会 2025年1月16日 10名出席

①ファンドレイジングイメージ提示 具体的な特産品販売に向けて

②公益化について再検討「小規模公益法人500ガイドブック」（齋藤委員より）寄附、遺贈を見据えて

第8回法人推進委員会 2025年2月20日 12名出席

①今後の法人推進委員会としての取組 ファンドレイジング、ゆめ基金、街頭募金など

②公益化について 認定プロセスが簡素化される

第9回法人推進委員会 2025年3月20日 9名出席

①3月8日次期会長研修報告 ファンドレイジング、ツールの利用、公益化

②法人概要書修正版作成 8 ページのままデータをアップデート

③広報・教宣の強化 文献・組織等検討委員会との連携

第 10 回法人推進委員会 2025 年 4 月 17 日 7 名出席

①振り返り～2024 年度法人推進委員会目標達成状況の確認 補助金申請 2 件／7 件 クラブへの法人説明 1 回／7 回 法人概要書見直し 完成

②法人推進委員会終了後について～提言キャビネット+法人推進委員会委員何人かで新しいチームを設立。文献組織委員会への引継事項（事務員）。CS・Y サとの連携

③ツールの確認～名刺、法人概要書を利活用。

\*子どもゆめ基金 令和 7 年度採択発表 2025.04.01 甲府 21 ほか

---

## ヒストリアン

ヒストリアン 仙洞田 安宏(甲府やまなみ)

1) 次期クラブ会長・部役員研修会（3 月 8 日、9 日・東山荘）ワークブックに、「ヒストリアンから  
のお願い」を掲載。

2) 今年度保存した史料類

1. 東京八王子クラブ 30 周年記念誌
2. 厚木クラブ 20 年のあゆみ
3. 大和クリエイティブ Y サービスクラブチャーター記念誌

3) 毎年度末に 1 年間の年表を作成している。

2011-2012 年度からヒストリアンを務めています。参考までに、2010-2011 年度以降のクラブの消  
長を以下に記します。

### ▼国際加盟したクラブ

・長野	2010 年 10 月	・東京セントラル	2014 年 6 月
・仙台広瀬川	2011 年 5 月	・東京銀座	2015 年 6 月
・東京ベイサイド	2014 年 9 月	・東京白金高輪	2015 年 6 月
・石巻広域	2016 年 5 月	・東京目黒	2016 年 10 月
・東京多摩みなみ	2016 年 7 月	・信越妙高	2018 年 6 月
・東京町田スマイリング	2019 年 2 月	・東京山手	2020 年 6 月
・横浜つるみ	2019 年 6 月	・沖縄那覇	2021 年 6 月
・千葉ウエスト	2020 年 10 月	・沖縄	2021 年 6 月
・甲府やまなみ	2022 年 9 月	・会津	2021 年 12 月
・大和クリエイティブ	2024 年 11 月	・東京北	2023 年 6 月

以上 10 クラブ

### ▼解散したクラブ

・高崎	2011 年 6 月	・東京ベイサイド	2024 年 6 月
・静岡	2012 年 6 月	・東京世田谷	2024 年 6 月
・柏	2013 年 6 月	・横浜とつか	2024 年 6 月
・湯河原	2013 年 6 月	・東京センテニアル	2024 年 12 月
・横浜関内	2013 年 6 月	・足利	2024 年 12 月

以上 22 クラブ

#### ▼合併したクラブ

- ・東京町田コスモス                   2018年7月（東京まちだ+東京コスモス）
- ・東京多摩スマイル               2023年7月（東京多摩みなみ+東京町田スマイリング）

※ここで言う合併の定義は、AとBのクラブが合併し、Cという名称のクラブになることを指します。2つのクラブのうちどちらかのクラブ名が存続した場合は、名称が消えたクラブは「解散」としてあります。

---

## IT アドバイザー

IT アドバイザー 大久保 知宏(宇都宮)

IT アドバイザーの主な業務は下記の通りです。

- 1) 東日本区ウェブサイトの運営
- 2) 東日本区メーリングリストの運営
- 3) Zoom 会議予約作業
- 4) 会員の IT リテラシーの向上

東日本区ウェブサイトの運営では山下真氏の協力をいただき、国際会長ニュース、理事通信、クラブブリテンの掲載を主に行っている。クラブ運営の Facebook とのリンクを表示する機能を持っているが、クラブでの Facebook 活用が限られていて、効果が表れていない。ウェブサイト管理者宛にクラブに興味のある方からのメールは2通受信し、それぞれの居住エリアの部に連携しました。

東日本区メーリングリストの運営では、区内の情報伝達のためのメーリングリストと田中博之氏の協力をいただきワイズドットコムを運営を行っています。ワイズドットコムは、ブリテンの掲載の告知などに活用されていますが、区のメーリングリストは Gmail メールサーバーによる配信エラーの発生もあり、運用の見直しも含めて検討すべき時期に来ています。

Zoom 会議の予約作業では、コンスタントに月に10回ほどの作業が発生しています。引き続き2アカウントでの運用が望ましいと思われます。

会員の IT リテラシーの向上では、クラブからのリクエストもなく IT アドバイザーとしての実施実績はありません。メール受信からエクセルでの入力、メールでの報告など一連の作業方法については、半年報での報告の仕方などを題材として研修会で時間を作る必要を感じます。

---

## トラベルコーディネーター

トラベルコーディネーター 小林 隆(熱海グローリー)

今年度トラベルコーディネーター (TC) に就任しました。TC は、海外からの BF (Building Fellowship 友情を築く) 代表の受け入れから出国までを適切に対応することが役割です。今年はイン

ドからの BF 代表ご夫婦を受け入れました。受け入れに際し、国際・交流事業主任の山本剛史郎ワイズには、BF 代表との連絡から申請書類の作成や各クラブとの訪問スケジュール調整など、あらゆる対応をしていただき感謝あるのみでした。

滞在中は、受け入れクラブの親切な対応がとても良く、大変喜んで帰国されました。受け入れクラブの皆さんありがとうございました。

<b>&lt;BF 代表&gt; 団体/クラブ名</b>	
YMC KOLLAM ROYALS (コラム・ロイヤル クラブ) 南西インド地域、インド地区	
氏名	Mr. KRISHNAN VENKATESH 61 才 (クリシュナン ヴェンカテッシュ)
国籍	: インド人 (ヒンドゥー教)
氏名	Ms. JAYANTHI HARIHARAN 52 才 (ジャヤンティ ハリハラン) (妻)
国籍	: インド人
◆日本滞在中に体験したい日本文化活動は何	
伝統的な日本文化、ビジネスや技術文化、その他の有名な観光地。	

### 滞在予定表

2025年1月12日

年月日	行動予定	連絡先	宿泊予定先
2025年1月26日	8:10 UL454便 成田着 千葉ウエスト歓迎会	長尾昌男 (千葉ウエスト) 090-2654-3479	東横INN千葉新鎌ヶ 谷駅前
2025年1月27日	東京YMCA東陽町訪問 皇居・丸の内観光	為我井輝忠 (東京多摩ス マイル)	ホテル ケヤキゲー ト 東京府中
2025年1月28日	Y友料理教室 (江口)	為我井輝忠 (東京多摩ス マイル)	ホテル ケヤキゲー ト 東京府中
2025年1月29日	さいたま市観光	利根川恵子・太郎 (川 越) 090-1690-3164	川越東武ホテル
2025年1月30日	さいたま市観光	新井壽代 (川越) 090-4225-3795	川越東武ホテル
2025年1月31日	川越クラブ歓迎会	吉野勝三郎 (川越) 080-3455-7357	川越東武ホテル
2025年2月1日	川越YMCA訪問	生川美樹、吉田公代 (川 越) 070-2151-8520	川越東武ホテル
2025年2月2日	航空公園・所沢クラブ例会	大澤和子 (所沢) 090-4835-0233	所沢パークホテル
2025年2月3日	東京見物 (はとバス)	小林恵子 (所沢) 090-2661-6626	飯能ヘリテージ
2025年2月4日	秩父和紙の里・祭り会館など	渋谷弘祐 (所沢) 090-8196-3523	飯能ヘリテージ
2025年2月5日	御殿場 (富士山) 観光	小林隆 (熱海) 090-6769-2224	日本YMCA東山荘
2025年2月6日	日本YMCA東山荘見学 富士山部歓迎会	小林隆 (熱海) 090-6769-2224	日本YMCA東山荘
2025年2月7日	千葉YMCA見学	青木清子 (千葉)	東横INN千葉駅前
2025年2月8日	千葉クラブ2月例会出席	青木清子 (千葉)	東横INN千葉駅前
2025年2月9日	11:20 UL455便 成田発		

## 広報・伝達(PR)専任委員

広報・伝達(PR)専任委員 渡辺 大輔(東京武蔵野多摩)

今年度も広報・伝達専任委員としハンドブック、ロースター、理事通信、区報、各種ワークブックの編集・作成や、ITアドバイザーの補助として Zoom 会議室の予約などを行いました。

常任役員会にも可能な限り出席しました。実務的な部分に時間を費やしてしまい、肝心の広報活動がおろそかになってしまったと反省しております。

---

## ユース代表

### 東日本区ユース代表 風間 奈月

2025年7月30日～8月3日に、熊本で開催されるアジアユースコンボケーション 2025 (AYC) の運営・プログラム計画を担当しています。AYC2023の参加者ユースや熊本 YMCA スタッフ、リーダーと毎週月曜日にリーダー会として、プログラム構成や運営体制を考えています。

また毎月第三月曜日には、両区ユース主任の方々をお招きして AYC 実行委員会を行っています。AYC 実行委員会では、同時期に開催される AC との情報共有も行っています。AYC 開催中には、ワイズの方々とユースたちとの交流の場となる AC への訪問も考えています。

AYC2025 のテーマは、平和です。AYC2025 の目的、最終ゴールは何なのかに重きをおきながら、プログラム構成を考えています。

---

## 東日本区事務所

### 東日本区事務所所長 小林 隆(熱海グローリー)

東日本区事務所の活動報告です。月・水・金曜日の午前 10 時 30 分から午後 5 時まで営業しています。

#### 1. 月次の主な活動

7月	・年次決算書の作成と会計監査資料準備 ・前期半年報の集計 ・前期区費請求書発送 ・1日～ 会計監査の準備と補助 (YMCA 同盟会館)
8月	・8日 7/1 半年報に基づく 8月1日基準の国際半年報を国際協会へメール報告 ・8/28 国際本部への前期会費の外国送金銀行手続き
9月	・初旬・・・ YVLF 実施の準備と資金支払 (領収書、交通費、つり銭) ・初旬・・・一般社団法人の登記作業 ・下旬・・・国際役員投票免除申請調査と国際協会へ申請書のインターネット提出 ・25日 ハンドブック、メンバーシップロースターの発送作業
10月	・大和クエティブ Y サービスクラブのチャーター手続きを国際協会へインターネット提出
11月	・9日 第2回役員会参加
12月	・2日 アジア太平洋地域への前期会費の外国送金銀行手続き (例年は9月に送金、Invoice のアジア事務所の遅延により 12月になる) ・7日 次期部長、事業委員研修参加 ・23日 1月1日後期半年報資料を会長へ送付
1月	・10日以降・・・後期半年報の集計 ・27日 後期区費請求書発送 (献金含め) ・26日～2月9日 インドの BF 代表 Mr.Benkatesh ご夫婦来日対応
2月	・10日～ 後期区費の収納と集計作業 ・31日～ 各種献金収納と集計作業 ・10日 1/1 半年報に基づく 2月1日基準の国際半年報を国際協会へメール報告

	・26日 国際本部への後期会費の外国送金銀行手続き（みずほ銀行四谷）
3月	・8日～9日 次期会長・部役員研修会準備と参加（東山壮、各種資料作成・受付対応） ・10日 ブースター賞国際登録申請実施
4月	・4日 中間会計監査の準備と監査補助 ・12-13日 第3回役員会の準備(備品・交通費) ・30日 アジア太平洋地域へ後期会費外国送金（みずほ銀行四谷）
5月	(予定)・各種献金を国際協会へ送金・区大会の準備・区大会での表彰会議と準備
6月	(予定)・年次決算書の作成と会計監査資料準備
毎月	・会計の記帳作業…4月末 930件の入出金を仕分けし会計ソフトへ入力と帳票整理 ・入会会員・退会会員・休会会員・広義会員・功労会員の受付管理

## 2. 役員会・委員会へのオブザーバー参加

役員会 3回、常任役員会 7回、LT委員会 3回、法人推進委員会 5回、財政再建検討委員会 3回  
事務会 4回、代議委員会 2回、臨時代議委員会 2回

以上の29回の委員会等に参加しました。

## 3. 改善・反省点

事務所書類の整理整頓は、一部の収納のみであり進みませんでした。

事務処理の効率化を進めていますが、一人の月水金だけでは事務が追い付かず、副書記さんの応援を得ているのが現状です。来年度は、補助応援体制が進展する予定です。

# 担当主事(YMCA 報告)

担当主事（～2025年3月）大澤 篤人（東京ひがし）  
（2025年4月～）田附 和久

本年度も全国 YMCA の活動をお支えいただき厚く御礼申し上げます。本年度、全国の YMCA は、2022年7月の第20回世界 YMCA 大会で採択された、全世界 YMCA 共通の行動計画である「世界 YMCA Vision2030」の推進を目標に掲げ、ポジティブネットのある豊かな社会の創造を目指して多様なプログラムを展開してきました。東日本区の皆様からの参加やご支援をいただいて開催されたプログラムを中心に、以下ご報告いたします。

### ■能登地震災害支援、能登豪雨災害支援活動

2024年1月に発生した能登半島地震の支援活動が継続されていた中、9月には能登半島豪雨が発生し、YMCA がそれまで支援活動を行ってきた輪島市町野町の避難所周辺一帯も大きな被害を受けました。発災直後に富山 YMCA が現地を訪問し調査を行った後、全国 YMCA から250名を超える水害ボランティアが派遣されたほか、ワイズメンの皆様による支援活動も展開されました。

### ■ウクライナ避難者支援、パレスチナ平和のための祈祷会開催

ウクライナからの避難者の日本での生活が長期化する中、生活相談や戸別訪問等の支援活動が継続して展開されています。12月7日には、避難者親子を対象に人形劇公演を開催。また2月22日には、ウクライナ避難者支援フォーラムを開催し、避難者や支援者の生の声を広く紹介しました。

一方、イスラエルによるガザ攻撃が終結しない中、パレスチナをはじめとする世界各地をオンラインで結び、各地の YMCA 会員が一刻も早い正義と平和の実現のために祈りを合わせるオンライン祈祷会を5月9日と10月31日に開催しました。

### ■第55回全国 YMCA リーダー研修会

5月4日～6日、国立岩手山青少年交流の家に全国 YMCA のリーダー104名をはじめとする総勢121人が集いました。様々なアクティビティや遊び、そしてキャンプソングがあふれる中で、参加者

それぞれが豊かな学びを得る貴重な時間を過ごしました。

#### ■第50回学生YMCA夏期ゼミナール

50回目の節目となる「夏期ゼミ」が、9月13～15日、東山荘に50名が集って開催されました。「小さな私、弱いあなた～暴力と戦争の世界を生きのびるために」をテーマに、本気の語り合いが繰り広げられました。この他、コロナ禍以降初の対面開催となった日韓大学YMCA交流（8月2日～5日、大阪）、第1回アジア・太平洋クリスチャンユースアッセンブリー（9月4日～8日、韓国済州島）にも学生YMCAメンバーが参加し、豊かな学びと国際交流の時間を過ごしました。

#### ■世界YMCAアクセラレーターサミット

「世界YMCA Vision2030」のさらなる推進を目的として10月21日～25日、ケニアのモンバサに世界YMCAに連なる約400人が集って開催されたサミットに、日本からはユース3名を含む4名が参加しました。現地での学びの成果は第23回日本YMCA大会において共有されました。

#### ■第23回日本YMCA大会

11月15日～17日の3日間、東山荘を会場として、307名（オンライン参加者含む）が参加して開催されました。「Link! ～[私]、YMCA、世界、そして未来～」をテーマとして、「世界YMCA Vision2030」のフレームワークに従って、2030年の社会やYMCAの「あるべき姿」を参加者が共に考えました。全国から集った10名のユースによって構成された実行委員会が、テーマ決定からプログラム運営までを担いました。

#### ■Y's×SDGsユースアクション

2回目となったY's×SDGsユースアクション事業では10チーム中、8チームの都市YMCAユースリーダーチームを選考いただきました。活動期間は終了しましたが、活動を続けるユースたちが各地のワイズメンと「つながり」続け、さらに「よくなっていく」ことが期待されます。

# 行政監査報告書

2025年5月31日

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

2024-2025年度理事 山田公平 様

ワイズメンズクラブ国際協会東日本区

2024-2025年度 監事 清水弘一

同 小倉恵一

東日本区定款第19条「監事の任務」の第2項および第3項の規定に基づき、2024年7月1日から2025年5月31日までの期間のワイズメンズクラブ国際協会東日本区理事の職務の執行状況、東日本区の内部統制システムの機能状況について監査を行いましたので、以下のとおり報告いたします。

<補足説明>

本報告書は東日本区定款第6条第9項(1)の定めにより年次代議員会では一般年次報告および監査報告の承認を求めるとされており、2025年6月7日(土)に行われる年次代議員会では2025年5月31日時点での行政監査の結果を中間報告として提示いたします。

なお、今年度の残余期間を含めた2024年7月1日から2025年6月30日までは、東日本区定款第19条第2項により今年度終了後、8週間以内に行政監査を行った上で、この行政監査(中間)報告書に追加、修正すべき点があれば追記等を行ったものを提示し、2025年8月に実施予定の臨時代議員会に議案提案し承認を求めます。

また、会計監査については、行政監査とは別に2025年4月30日時点での中間会計監査をすでに実施しており、その監査結果を年次代議員会で報告し、今年度終了後には2025年6月30日時点での今年度決算についての監査を行い、2025年8月に実施予定の臨時代議員会に議案提案し、承認を求めます。

## 記

### 1. 監査方法と背景

約3年間続いた新型コロナウイルス感染症の影響が第5類感染症へと移行されて2年、ワイズメンズクラブの活動も今年度は対面による行事が増え、オンラインへの対応の向上も相まって、理事始め関係者との充実した意思疎通を計る時間を持つことができました。監査の対象となる期間中に開催された年4回の東日本区役員会、毎月開催の常任役員会、東日本区LT委員会主催の研修会、クラブ周年記念事業に出席しました。また、2024-2025年度の東日本区年次報告書を精査し、適切な監査を行うための情報収集や裏付けとなる聞き取り調査等を行いました。

### 2. 監査結果

2024年7月1日から2025年5月31日までの期間、東日本区理事および理事スタッフのほとんどは前年度に続き2年目の就任となりました。ワイズメンズクラブ国際協会の憲法・ガイドライン、同アジア太平洋地域の憲法・ガイドライン、同東日本区の定款・施行細則、その他の関連規則等に従って職務を遂行しました。一部の議案提案に代議員会に付議できなかった案件については、定款にのっとり臨時代議員会で対応しました。また、理事は職務遂行にあたっては昼夜間

わずあらゆる課題や案件に法律や社会規範に反することなく、運営が適切に行われたことを認めます。

### 3. 今年度の振り返りと付帯意見

今年度（2024－2025 年度）を振り返り、東日本区全体に関わる課題や各事業に関わる主な事項についての付帯意見を下記のとおり記載します。

#### (1) ワイズの方向性を見極めた理事就任 2 年目

理事は主題に「ワイズの方向性を見極める」スローガンに「ユースエンパワメントを YMCA と共に」を掲げました。ワイズメンズクラブ運動 100 年の歴史にあって、ワイズを取り巻く世界の潮流の変化はすさまじく、東日本区にあっては、会員の高齢化問題や歯止めがかからない会員減少に直面している。

そのような状況下にあって、理事はワイズ運動やその組織はどうあるべきか、その為に何をなすべきかを役員会や研修会等において建議し、限られた時間の中で議論してきました。特に区の財政改革問題は緊急性を要したためチーム・イノベーションの答申を受け、東日本区サポートファンドや大幅な経費削減を実施し、財政破綻を回避することができました。

部の在り方や再編成問題等については、合意形成に向けて話し合いを続けておりますが、各部の状況の違いはあってもクラブの統廃合や部の在り方、運営については共通の課題であり、いずれ、近い時期に結論を導き出し、東日本区全体の活性化に寄与できることを期待しております。

また、ユースアクションプロジェクトは東・西日本区と YMCA から 7 件のアクションプランが実施され、終了後、報告会が行われました。ユースの企画力と行動力に、今後への大きな示唆とともに希望と期待を与えてくれました。

#### (2) 東日本区の各事業と各部の課題について

新型コロナが第 5 類感染症に移行されて 2 年、対面の活動が戻ってまいりましたが、コロナ禍時代の影響や国際的には円安等の外的要因も加わり東日本区全体の財政状況が苦戦する中、区のリーダーの皆さんのリーダーシップと熱意、会員の皆さんのご理解とサポートには心からの敬意を表します。

目標達成に至らなかった事業もありましたが、次年度以降につながる多くの課題も提起されました。

会員増強事業は会員減少の歯止めが止まらず深刻な状況下にあります。残念ながら関係者の努力にも拘わらず今年度 2 クラブの解散がありました。でもこんな状況下にあっても嬉しいニュースがありました。それは大和クリエイティブ Y サービスクラブの誕生でした。関係者の熱意と努力に改めて敬意を表します。クラブ拡張 (E) はワイズ存続の基本です。一スポンサークラブに頼るだけでなく、部として区全体の事業として推進する必要があります。ワイズには YMCA という大きなバックボーンがあります。YMCA 運動の拠点をもっともっと全国には必要だと思います。

情報のネットワーク化がどんどん発達する時代、新しい形のワイズと YMCA の存在価値を見出して行くことが必要です。

#### (3) 東日本区的一般会計における財政問題について

昨年度東日本区理事の諮問機関として「東日本区チーム・イノベーション」が発足して緊急な対応が求められたのは区的一般会計の破綻を防ぐための対応策でした。区費の値上げも検討されましたが、現キャビネット、次期キャビネットの提案は会員の減少に応じた経費の削減と東日本区サポートファンドで寄付を仰ぎ一般会計に組み込むことでした。多くの会員有志、クラブよりサポート

ファンドが寄せられ次年度予算編成の礎となりました。また経費節減では対象となったキャビネット、役員の方には様々な負担をかけることになりましたが、これからの財政改善に期待いたします。反面、中長期に見た場合、必要経費の削減はそれに該当する方々の意欲を低下させる恐れがあります。いつも誰もが共通の基盤の上にワイズや YMCA の運動に参加するためにも、個人に過度な負担を強いる事のないように早期に改善されることを望みます。

#### (4) 東日本区の組織の見直しについて

日本区が 1997 年に東・西日本区に分割されて今年で 28 年、会員数増加の歴史とともに東日本区定款が制定され、ワイズ先達者の叡智と努力で組織は大きくなり、それに伴い定款施行細則や諸規定や諸規則、ガイドラインの充実が図られた。現在、東日本区関連の定款を始め諸規定のマニュアルだけでも 26 件が存在する。(部会則、クラブ会則は除く)

東日本区任意団体の組織の最終議決機関は代議員会で区役員会—理事—7 部—クラブと続きます。理事の下には常置委員会、事業委員会、ワイズメネット委員会、特別委員会、東西合同委員会が存在する。部には役員会、評議会が置かれ、クラブには役員会、総会がある。

近年会員数の減少の顕著化が進み、東日本区のクラブ会員数は東西に分割時の約 60%までに減少、高齢化による組織の硬直化、特に部も区もリーダーの成り手不足や負担増などがワイズ活動への将来への不安を増幅させている。現状に合わせた組織の見直しを進めることは近々の課題である。

#### (5) 能登半島地震支援活動への対応について

東日本大震災発生から 15 年目に入り、能登半島地震発生から 1 年 5 か月が過ぎました。東日本大震災では私たちは多くの事を学び、東・西日本区の区別なく国内外から支援と励ましを受けました。この約 1 年半の間に東日本区のメンバーとしてどれだけどんな形で能登半島地震に寄り添い学んだのでしょうか？能登半島地震の復旧・復興は道半ば、これからも全国各地での発生が予想される内地型地震への対応を学ぶためにも多くのメンバーに呼びかけ、能登の被災地に足を運んで行ければと思います。

#### (6) 監査報告の終わりに

この 2 年間、行政監事としての任務を終えることになりました。2009 年に理事を退任してから 14 年のブランクがありましたが、改めて多くの学びと交流がありました。会員数の減少化が続き高齢化も進みました。行政監事の任務は東日本区理事の職務の執行状況、東日本区の内部統制システムの機能状況について問題なく行われているかを確認することですが、任期中は戸惑いもありました。先に就任されていた財政監事の小倉恵一様には多くのご指導とアドバイスをいただきました。

これからも健康が続く限り、東日本区が抱えている課題について一ワイズメンとして挑戦してまいります。心からの感謝を申し上げ報告といたします。